

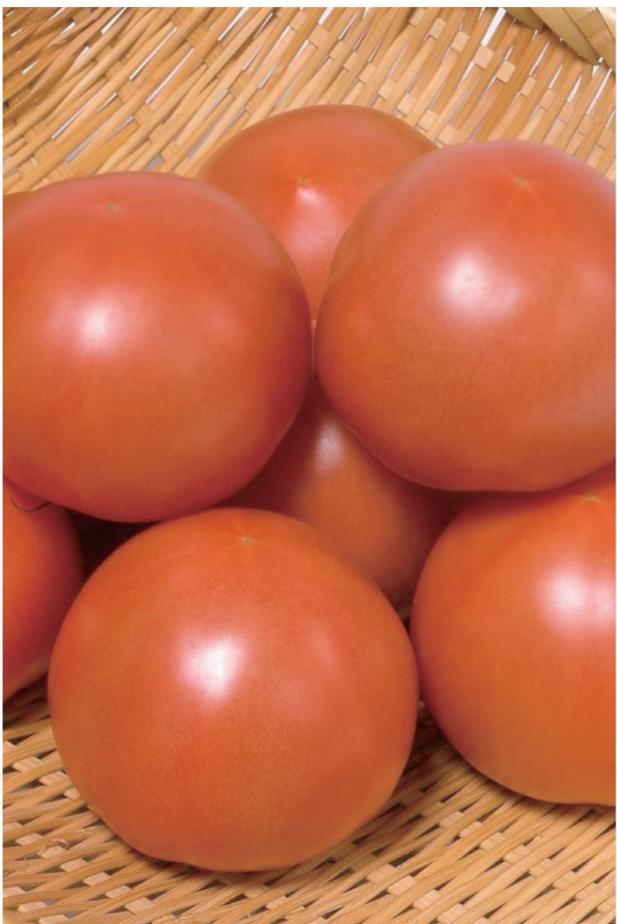
データに基づく理論と

日々の努力が結実する農業

坂本浩之

(32歳)

— 天理市中山町 —



なんとなく選んだ

「農業」という仕事

山々が悠然とそびえ、近くには日本最古の道「山の辺の道」が走る。豊かな自然と歴史に包まれた天理市中山町に広がる田畑で、坂本浩之さんはトマト、ほうれん草、大和まななどの野菜と米作りに励んでいる。

坂本さんが、母の実家であるこの地で農業を始めたのは6年前。高校を卒業して就職、その後、結婚し子供にも恵まれたが、勤務上るくに家に帰れないような

毎日が続き、転職を考えた。でも、自分は一体何がしたくて、何が向いているのかわからない。そんなときに思い出したのが、祖父が天理で長年続けていた農業だった。

妻や友人はもちろん、母や父にも農業経験は一切なく、坂本さんが会社を辞めて自分で農業を始めたいと話したときには、誰も反対しなかった。そんな中、祖父だけは違った。26歳で会社を辞めた翌日、農業を教えてほしいと頼んだ坂本さんに祖父が返した答えは、「やめておけ」だった。

農業で生計を立てていくことの大変さを知るからこそその言葉だったと今ならよく装して念願のカフェを開き、自分の作った野菜を使った料理を提供してくれるのも励みのひとつだ。

まだまだ知らないこと、学ばなければいけないことが山ほどある。ただ、6年間続けてきて、知識も経験もなかった自分でもこれと決め追究していく信念があれば、克服できるという自信も感じられるようになってきた。元々会社を辞めて自分で農業を始めようと決めたのも、家族と過ごす時間を増やすためだったことを考えると、その時間も仕事のやりがいも得られている今に幸せを感じる。家族のため、自分の野菜を食べてくれる人たちのため、もつと美味しい野菜作りを目指して坂本さんの努力は続いていく。

く分かる。ただ、当時はその言葉の重みが理解できなかった坂本さんは、見よう見まねで祖父の仕事を手伝いながら、野菜を育てる日々をスタートさせていく。

理論と努力、双方がそろってこそ「おいしい」

軽い気持ちで農業を始めた坂本さんを容赦ない現実が次々と襲った。天候や災害に大きく影響を受ける日々の作業、教わった通りにしてもうまく育たない野菜、そしてそれに直結する不安定な収入。思い通りに行かない試行錯誤の日々の中で、祖父の「やめておけ」の言葉が何度も頭に浮かんだ。

しかし、教わったことに自分で工夫を加えたり、なるべく農薬や化学肥料を使わない野菜を作ることに努めたりして、時間と共に少しずつ経験を蓄えていった。自らの頭で考え努力した結果、美味



しく育った野菜を消費者に届けられる農業という仕事にやりがいと楽しさを感じ始めたのもこの頃だ。

そんな中、勉強のため色々な農家を訪れていたとき、先輩のトマト農家との出会いが印象的だった。坂本さんが「感動的に美味しい」と絶賛するトマトを作るその先輩は、トマトの品種や栽培のコツから、細かな秘訣まで坂本さんに教えてくれた。土の状態を一定に保つための肥料分析もその内のひとつだ。

「味の違いは土の違いです」と坂本さんは言い切る。環境の変化に大きく左右されるかどうかは、土にかかっていると考えるその先輩の教えに沿い、坂本さんもこまめな土の管理を欠かさない。次の苗を植える前や収穫が終わった後には毎回畑の土を分析センターに出し、状態をチェックする。分析データを元に、配合する肥料の量や最適なバランスを算出するのだ。経験の少ない自分が勘に頼るよりも、理論に基づく方が確実と考える坂本さんのデータへの信頼は厚い。

もちろん、土の分析だけでおいしい野

家族と消費者へ、さらに美味しい野菜を届けたい

野菜ができるわけではない。データに基づく土の管理に加えて、毎日毎日欠かさすことなく野菜に目をやり、手をかけ、ほんの小さな変化もつぶさに見て取る丁寧な仕事の両方があってこそ「おいしい野菜」が作れる。

トマトやほうれん草などの野菜の収穫時期と水田の世話が重なる夏場は、寝る時間もないほど忙しい。それでも、すぐ近くに家族がいてくれ、助けてくれることで力を得、日々頑張れる毎日だ。自分が丹精込めて作った野菜を食べた人が「おいしかったよ」とかけてくれる声も大きな力となっている。

もつと多くの人に自分の野菜を食べてほしいという思いが高じ、最近ではレストランや小売店などへの直接の売り込みにも積極的だ。出荷先も、県内や近隣府県に留まらず、関東や九州といった遠方にもまで広がっている。

今や3児の父となり、安心で美味しい野菜を作りたい気持ちはさらに高まっている。それと同時に、今後は新しい作物の生産や加工品の開発など、新たなことにもチャレンジしたいと考えている。4年前、退職した母が祖父の家の一部を改



カフェメリッサ

奈良県天理市中山町 763 / Tel: 080-3811-0161

www.cafe-melissa.com